つるうち マイガーデン紹介コーナー

Vol.1

発行：弦打校区コミュニティ協議会 環境美化部会
TEL：087－882－0285
つるうち.ネット http://www.tsuruuchi.net/

お母さんから引き継いだバラ園

弦打校区コミュニティ協議会 環境美化部会では、この度、地域の皆様や、地域を通行される方が、癒され、幸せな気分になるマイガーデンの取組を紹介していくこととなりました。これをきっかけに、校区内に四季折々の美しい花が咲き、沢山のお花に囲まれた地域になることを願っています。今後、不定期で校区内の様々な取組を紹介していきますので、是非、楽しみにしていて下さい。

記念すべき第１回目は、御殿橋から木太鬼無線を西へ進み、産業道路との交差点手前の南側に咲くバラ園です。皆さんも通行中に一度は見かけたことがあるのではないでしょうか。バラ園は、５月上旬～６月上旬、９月中旬～１０月中旬に見頃を迎えます。そこで、バラ園を育てている鶴市町の佐々木秀樹さんにお話を伺いました。

バラ園を育てる事になったきっかけは？

現在のバラ園の場所は、長年、母親が家庭菜園を行っていましたが、体力の低下などから続けていくことが困難になりました。草が生えてもいけないので、私が引き継ぐことになり、最初は菊や、とうもろこしを育てるなど、家庭菜園のマネゴトのようなことをしていました。しかし、育てみたものの、花や野菜が多くできすぎて、もらってくれる人を探すのにも一苦労するようになりました。困った私は、母親にコンクリート舗装を提案してみましたが、全く受け付けてもらえませんでした。そこで、どうせなら妻が好きな花を育てようということで始めたのがバラです。

バラ園を育てて良かったことは？

最初は数本のバラから始まりました。やがて、バラの数が増えていくにつれて通行される方が褒めてくれたり、喜んでくれたりしました。また、交差点で止まった車の方が窓を開けて声を掛けてくれることが増えました。今では地域の方や通行される方が褒めてくれる、喜んでくれることが自分の励みとなり、楽しみになっています。

バラ園を育てて苦労していることは？

一番大変なのは日々の草抜きです。また、毎年冬には寒肥をやったり、剪定をしたり、バラの枝を構造物に沿わせるように曲げながら、紐などで固定していく「誘引」という作業をしなくてはいけません。今ではこれが終わると正月を迎えられるというのが毎年の恒例となっています。ただ、草を抜いたり、土をいじったり、剪定をしている最中は、本当に夢中になり、日常を忘れリフレッシュできる機会にもなっています。

バラ園の見どころは？

このバラ園はイングリッシュローズやフレンチローズ、日本のバラなど、全て違う種類のバラを植えています。また、四季咲きのバラは春（５月上旬～６月上旬）と、秋（９月中旬～１０月中旬）では花の色や形、大きさなどが違いますので、是非見比べてみてください。また、あえて花の名前は書いていないので是非当ててみてください。

地域の皆様にメッセージを

バラは本当に奥が深いです。これから新しいバラも増やしていきますので、是非、見に来てください。また、バラ園のバラは剪定の時期などタイミングが合えばお渡しできるかもしれませんので、是非皆さんも育ててみて下さい。

環境美化部会では、地域の皆様や通行される方が、癒され、幸せな気分になるマイガーデンの情報を募集しています。自薦、他薦は問いませんので、心当たりがある方は環境美化部会（087-882-0285）までご連絡ください。